**日向地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン**

**１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題**

本地域は１市２町２村からなる広域で、海抜０ｍ～１，０００ｍと標高差もある。農用地面積は３，７１４haの内水田面積は２，３６１haである。作物別は主食用米が全体の１，３５６．５ha（５７．４％）を占めておりついで飼料作物等（WCS用稲含む）が２０６．２ha（８．７％）、野菜等の園芸作物が１７１．６ha（７．３％）となっている。

本地域の作物作付状況は米については、沿海部は早期水稲、中山間部は普通期水稲が主体であり全体で５７．４％を占めている。米以外の作物として、飼料作物を中心に野菜、花卉、大豆、果樹等が作付されている。特に野菜は温暖な気候を利用して施設・露地栽培や地理的要件を利用した高冷地野菜が栽培されている。しかし、近年では資材高騰や燃油高騰で生産費が増大する一方生産物の販売価格は下がっており、今後は、品質向上及び低コスト栽培、地域特産品などニーズの高い産品の産地化を図る取組等の指導・推進を図ることが必要となっている。

**２　作物ごとの取組方針**

（１）主食用米

需要に応じた売れる米づくりについて、良質、良食味で安全・安心な米づくりを実施し、消費者の安全性志向が強まる中、量から質への転換を推進している。また、食の安全性や表示等への関心が高まる中、生産履歴記帳による信頼できる米づくりに向けて取組を行う。

（２）非主食用米

ア　加工用米

　　　　主食用米の需要減が見込まれる中、加工用米を転作作物に位置付ける。当該地域の加工用米は、県内の酒造メーカーへの販売を中心に生産を行っており、近年、加工用米の需要が高まっているところである。

産地交付金を活用して、生産性向上の支援や、県内の実需者との結びつきを強化して、生産の拡大を図る。（H25現行の０．８haを28年度までに２３haを目指す）

　　イ　飼料用米

　　　　当該地域の飼料用米は、経済連等と販売契約を締結し県内の養鶏、養豚業等との連携を進め取組を図る。

H27年度も、多収実証展示圃を設置し、地域に合った多収性専用品種の選定や収量状況等の検討を行いながら、産地交付金を活用し、生産性向上の取組を推進する。また、主食用米とのコンタミ防止の観点から、収穫時期が重ならないよう品種毎の団地化を図るなど、作付計画等について協議する。（H25現行の２．８haを28年度までに３．０haを目指す）

　　ウ　WCS用稲

　　　　水田機能の維持、農作業機械の有効活用による低コスト・省力化が図られることから一層推進する。また、肉用牛の生産基盤確立のため、経営面積の維持及び生産性の向上を図ると共に安心・安全で高品質な畜産物の生産を図る。（H25現行の１２２．５haを28年度までに１２５．０haを目指す）

（３）大豆

作業受委託による低コスト化を推進し、適正管理の徹底や共同調整により品質の向上を図る。販売については、地域の直売所、女性部、加工業者を中心に付加価値を付けて販売を行って行く。（H25現行の６．７haを28年度までに７．０haを目指す）

（４）そば、なたね

地域の特性を生かし実需者との契約に基づき、産地交付金を活用して現行の栽培面積を維持する。また、地域の直売所等で販売することにより村興しや集落の活性化につなげる。

（５）野菜・花卉・きのこ類

本地域は温暖な気候や地理的条件を利用して施設・露地で栽培されており、市場での高い評価を得ている。

　　　　地域振興のためには、後継者の就農はもとより、新規就農者等により作付面積の拡大もあり経営の支援及び事業活用の確立を図る必要がある。

そこで、さらなる品質向上や収量アップに応じた栽培方法等を産地交付金を活用しながら推進を図っていく。また、地産地消の観点から直売所等の有効活用を促す。

管内の地域振興作物として、トマト類、きゅうり、にがうり、なす、スナップエンドウ、しょうが、ほおずき、スイートピー、きのこ類を位置付け安心・安全の産地化を図る。

（28年度までに、トマト類：H25現行１７．８ha→H28目標：１８．０ha、きゅうり：H25現行６．１ha→H28目標：６．３ha、にがうり：H25現行２．０ha→H28目標：２．３ha、なす：H25現行１．４ha→H28目標：１．５ha、スナップエンドウ：H25現行１．３ha→H28目標：２．０ha、しょうが：H25現行１．５ha→H28目標：１．７ha、ほおずき：H25現行１．３ha→H28目標：１．４ha、スイートピー：H25現行０．９ha→H28目標：１．０ha、きのこ類：H25現行３．７ha→H28目標：４．０haの作付拡大を目指す）

（６）施設園芸及び露地大根

産地交付金を活用し、生産性向上や低コスト栽培・品質向上対策等に取組み、地域の特産品など、ニーズの高い産品の産地化を図るための取組を推進する。（28年度までに、施設トマト類：H25現行１０．３ha→H28目標：１１．６ha、施設きゅうり：H25現行４．１ha→H28目標：４．８ha、にがうり：H25現行０．２ha→H28目標：０．３ha、スナップエンドウ：H25現行１．３ha→H28目標：２．０ha、ほおずき：H25現行１．３ha→H28目標：１．４ha、スイートピー：H25現行０．９ha→H28目標：１．０ha、露地大根（千切り用）：H25現行：３２．６ha→H28目標：３５．０haを目指す）

（７）景観形成作物・地力増進作物

　　　　産地交付金を活用し、水田の有効活用及び遊休農地の解消に取り組み水田としての維持を図る目的として作付の支援を行う。なお、地力増進作物については、同一圃場での取組を最長３年間として助成を行い、その後は作物作付の誘導を促す。

（８）不作付地の解消

調整水田等の不作付地の改善計画では、１２．２haが計上されており、このうち約６割が「自ら作物生産する」となっている。一方「他人に委託する」となっているものも約０．７haある。

今後は、中間管理機構等において、機構集積協力金、経営転換協力金等の助成を最大限に活用出来るよう生産者への周知を図りながら、人・農地プランに位置付けられた地域の担い手・認定農業者等を中心に農地集積を図り不作付地の解消を図る。

**３　作物ごとの作付予定面積**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 作物 | 平成25年度の作付面積（ha） | 平成27年度の作付予定面積（ha） | 平成28年度の目標作付面積（ha） |
| 主食用米 | １，３５６．５ | １，３２０．０ | １，３１５．０ |
| 加工用米（基幹） | ０．８ | ２３．０ | ２３．０ |
| 備蓄米 | ０．０ | ０．０ | ０．０ |
| 米粉用米 | ０．０ | ０．０ | ０．０ |
| 飼料用米（基幹） | ２．８ | ３．０ | ３．０ |
| ＷＣＳ用稲（基幹） | １２２．５ | １３５．０ | １２５．０ |
| 麦（基幹）（二毛作） | ０．１０．１ | ０．６０．４ | ０．６０．１ |
| 大豆（基幹） | ６．７ | ６．０ | ７．０ |
| 飼料作物（基幹）（二毛作） | ８３．７２３６．３ | ８４．７２４０．０ | ８７．０２５５．５ |
| そば（基幹）（二毛作） | １．０７．６ | １．０７．６ | １．０７．６ |
| なたね（基幹）（二毛作） | ０．１２．７ | １．５２．７ | ０．２２．７ |
| その他地域振興作物 | １７１．６ | １７５．１ | １８２．３ |
|  | 野菜うちトマト類（うち施設栽培）きゅうり（うち施設栽培）にがうり（うち施設栽培）なすｽﾅｯﾌﾟｴﾝﾄﾞｳ（うち施設栽培）しょうが大根（基幹）（二毛作）花き・花木うちほおずき（うち施設栽培）スイートピー（うち施設栽培）果樹雑穀地力増進景観作物その他うちきのこ類 | ９６．７１７．８（１０．３）６．１（４．１）２．０（０．２）１．４１．３（１．３）１．５０．６３２．６１６．８1. ３

（１．３）０．９（０．９）４８．８０．１０．２０．２８．８３．７ | １００．０１９．０（１８．８）６．１（４．２）２．０（０．６）１．５２．３（２．３）１．５０．７３４．０１７．０１．６（１．６）１．０（１．０）４８．８０．１０．２０．７８．８３．７ | １０５．０１８．０（１１．６）６．３（４．８）２．３（０．３）１．５２．０（２．０）１．７０．７３５．０１８．０１．４（１．４）１．０（１．０）４８．８０．１０．２０．２１０．０４．０ |

**４　平成28年度に向けた取組及び目標**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組番号 | 対象作物 | 取　組 | 分類※ | 指標 | 平成25年度（現状値） | 平成27年度（予定） | 平成28年度（目標値） |
| １ | トマト類きゅうりにがうりな　すｽﾅｯﾌﾟｴﾝﾄﾞｳしょうがほおずきスイートピーきのこ類 | 地域振興作物の作付拡大 | ア | 実施面積 | 17.8ha6.1ha2.0ha1.4ha1.3ha1.5ha1.3ha0.9ha3.7ha | 19.0ha6.1ha2.0ha1.5ha2.3ha1.5ha1.6ha1.0ha3.7ha | 18.0ha6.3ha2.3ha1.5ha2.0ha1.7ha1.4ha1.0ha4.0ha |
| ２ | 施設トマト類施設きゅうり施設にがうりｽﾅｯﾌﾟｴﾝﾄﾞｳほおずきスイートピー千切り用大根 | 施設園芸作物の作付拡大露地大根の作付拡大 | ア | 実施面積 | 10.3ha4.1ha0.2ha1.3ha1.3ha0.9ha32.6ha | 18.8ha4.2ha0.6ha2.3ha1.6ha1.0ha34.0ha | 11.6ha4.8ha0.3ha2.0ha1.4ha1.0ha35.0ha |

※「分類」欄については、実施要綱別紙16の２（５）のア、イ、ウのいずれに該当するか記入して下さい。（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組の記号をいずれか1つ記入して下さい。）

ア　農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

　　イ　生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

　　ウ　地域特産品など、ニーズの高い産品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組